

// 特集 // 平成 10 年度 ブロック研究会活動報告

北海道ブロック

1. ブロックの運営動向

ここ数年、短大・四大を取り巻く環境の変化は著しく、学生の資質の変化とニーズの多様化が劇的なスピードで進行している。この変化の中で、われわれ教育現場に身を置く者の多くは、今「何を」「どのように」「教える」べきなのか、人知れず悩み、試行錯誤を繰り返しているのが現状である。特にビジネス実務関連科目の担当者には旧来の考え方からの脱却が求められ、「教え方」と「教える中身」の洗い直しを迫られながらも相変わらず、硬直状態が続いている。

そのような中、昨年 12 月に開かれた運営委員会では、今年度の研究会は、これまでの「研究発表」という形からは少し離れて、「教えること」をテーマに自由なスタイルで様々な体験・試みなどをざっくばらんに紹介しあい、会員同志が建設的に情報共有をはかることによって会を一步前に進めるべく方針が確認された。

2. ブロック研究活動状況

(1) 平成 10 年度ブロック研究会の概要

日 時：平成 11 年 3 月 13 日（土）

会 場：かでの 2・7

出席者：18 名

参加者の自己紹介・近況報告の後、以下の 4 件の報告・発表が行われた。



- ① 「学生の送り出しから新人社員教育を見つめて」芝里砂美（日本経営者協会）
- ② 「授業・演習の問題点といくつかの試み」加藤由紀子（北海道文教短期大学）
- ③ 「社会人に語った経済学、学生に教える経済学…そのはざままで思うこと」玉山和夫（札幌国際大学）
- ④ 「会計実務の学習内容と授業方法について」白川智洋（札幌国際大学短期大学部）

いずれの発表においても、基礎学力の低下が目立つ大学・短大生を相手に、日頃「教える者の思い」と「教わる者の実態」とのギャップに直面し苦勞されている様子が報告され、加えて、授業における様々な工夫・試みが具体的、かつユーモラスに紹介された。会員各自が我が身に置き換えて考えさせられる内容が多かった。また、実務界での経験の上にビジネス教育を実践されている先生方の報告は大変リアルティのあるものであり、かねてから実務界からの入会会員の拡大が言われてきただけに、改めて、ビジネス教育界の抱える課題が浮き彫りになったとも言えよう。

今回は特に、「形式にとらわれず、できるだけ率直な意見を」という北崎リーダーの掛け声に促されて、これまでになく自由な雰囲気の中で報告・発表が行われた。発表後の質疑応答の際に会員共通の問題意識が確認されたり、共同研究につながるような動きが見られたのも本ブロックとしては嬉しい進展である。

(2) 研究会運営に関する協議

- ① 平成 11 年度ブロック研究会の運営委員等の委嘱が行われた。
- ② 共同研究などの申請があれば、運営委員会で検討の上、ブロックとして研究費補助をつけていくことが提案された。（和田佳子記）



関東・東北ブロック

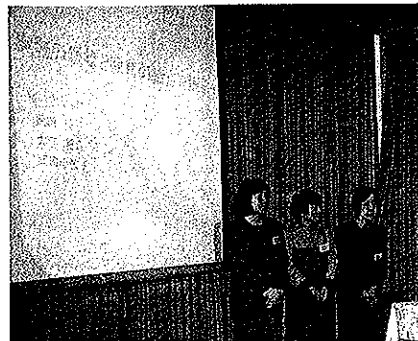
1. ブロックの運営動向

研究会の開催を 1 年 1 回 1 日（午前・午後）とし、学校以外の外部施設（東京商工会議所スカイホール）を使用しての実施も、2 年目となった。交通の便の良いことなどもあり、定着してきている。また新規会員募集のためにプロジェクトチームを発足させ、会員に呼びかけを行ったり、研究会へのビクター制度を始めた。

2. 研究会活動

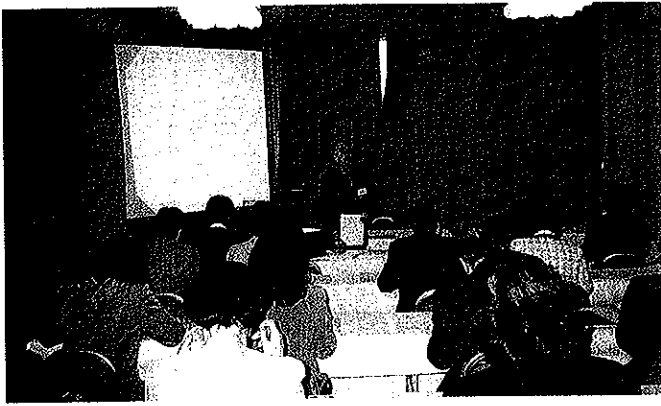
第 26 回ブロック研究会は、平成 11 年 2 月 18 日（木）東洋女子短期大学の当番校により、東商スカイホールに 76 名の会員と 5 名のビクターが参加して開催された。

今回の研究会は、全国大会の統一テーマ「ビジネス実務教育の方法をめぐって」と同じテーマを掲げ、全国大会を前に会員の意識を高める場とした。午前中は今年度発足の共同研究 2 チームからの中間報告、そして株式会社ミスミ取締役・猪熊洋文氏の講演「ミスミの組織改革——イントラプレナー



型企業をめざして——」の講演の後、3 会場に分かれ、下記の研究発表が行われた。（①～⑤共同研究発表、⑥～⑨個人研究発表）

型企業をめざして——」の講演の後、3 会場に分かれ、下記の研究発表が行われた。（①～⑤共同研究発表、⑥～⑨個人研究発表）



- ① 安藤光俊(育英短期大学)「群馬県における企業実態調査」
- ② 天野恒男(東京家政学院短期大学)「ビジネス実務教育における教授法の研究」
- ③ 鐘ヶ江弓子(共栄学園短期大学)「外資系企業の秘書に見る国際秘書業務の姿容」
- ④ 佐藤東九男(東京工芸大学女子短期大学部)「情報関連科目における教授法」

- ⑤ 南村博二(大和証券人事部)「女性社員と経営組織について」
- ⑥ 藤田利久(川口短期大学)「米国のコミュニティ・カレッジにおける秘書教育の現状」
- ⑦ 今井克佳(東洋女子短期大学)「国語表現法における情報機器活用の一例」——事例研究から——
- ⑧ 武田秀子・大宮智江・岡田小夜子(高崎商科短期大学)「実務の現状と教育の接点をさぐる」——群馬県における調査から——
- ⑨ 田寺典江(田寺社会保険労務士事務所)「女性の職域の拡大と企業の求める人材」——労働基準法・男女雇用機会均等法の改正を迎えて——

3. 共同研究活動

関東・東北ブロック研究会での共同研究活動も、2年目に入り、98年度は次の2つの共同研究グループが活動を始めた。2月の研究会で中間報告を行った。

- ① 「ビジネスのためのプレゼンテーション」小野塚久枝(東京家政学院短期大学)
 - ② 「ホスピタリティの実践研究」古閑博美(嘉悦女子短期大学)
- また、99年度に向けて新たな共同研究のテーマ募集を行っている。(風戸修子記)

中部〈東海・北陸〉ブロック

ブロック運営委員会報告

平成10年度の当ブロック研究会の運営委員会活動は、以下のとおりである。

- (1) ブロック研究会助成の募集について
- (2) 平成10年6月4日(於・尼崎)
 - ① ブロック研究会助成について：4件の募集の中から2件を採択した
 - ② 共同研究の進め方について
- (3) 平成11年1月6日(於・浜松)

報告：① 役員・評議員の選出について

② 会計報告について

審議：① 役員・評議員選考委員の選出について(柴山正氏を選出した)

 - ② ブロック運営委員の任期と選出方法について
 - ・任期：本部役員の任期と合わせる(継続しては2期が望ましい)
 - ・選出方法：5月半ば頃までにリーダーに推薦し、6月より交代、次の1月に承認する
 - ③ 来年度ブロック研究会の開催について
 - ・日時：平成12年1月6～7日
 - ・場所：名古屋周辺に決定した
 - ④ 来季の共同研究について(新規募集はせず継続とすることを決定した)
 - ⑤ 今回のブロック研究会の運営・役割分担などについて(吉田寛治記)

ブロック研究会の開催

本年度(平成10年度)は、平成11年1月6日(水)・7日(木)、浜松市の「アクティシティ浜松コングレンスセンター」で42名の会員の参加で開催された。

先ずブロックリーダーの吉田寛治先生の開催の挨拶、続いて総会が行われ、運営委員会の報告や学会の役員・評議員選考委員の選出、次期ブロック研究会の会期・場所の決定などが承認された。

続いて、当ブロック研究会の「助成研究」の2件の中間報告が行われた。

- ① 「職場における異文化間コミュニケーション～オフィスワーカーの志向パターンからみた文化の相違～」荒川恵美子先生・大津洋子先生・河村眞澄先生・原川かず江先生・水谷啓子先生
- ② 「現代ビジネス環境の実態調査～エレクトロニクスコミュニケーションとヒューマンコミュニケーション～」山口智子先生・明瀬純子先生・一柳達幸先生・大石繁先生・寺田利恵子先生・真弓徳光先生

その後、次の8研究の発表があった。



- ① 「情報収集学習と他領域への展開(II)～新聞活用の秘書教育～」吉田由紀子先生
- ② 「韓国の働く女性たち」島本みどり先生・水谷啓子先生・森田園子先生・油谷純子先生
- ③ 「高等学校における秘書教育の現状について」鈴木和也先生
- ④ 「経営組織における秘書業務の現状と問題点」福岡欣治先生・中村健壽・内山伊知郎先生・安田英理佳先生・一柳達幸先生・柴山正先生・石川雅健先生・國田千恵子先生・平田祐子先生・余語真夫先生・加藤宏美先生
- ⑤ 「経理実務担当者アンケートにみるビジネス実務教育の問題」戸田昭直先生・西川三恵子先生・桂信太郎先生
- ⑥ 「ビジネス社会の精神側面における問題点とその対策の研究～ビジネス社会をとりまく環境からのアプローチ～」菱田陽子先生・野口喜美代先生
- ⑦ 「M.ウェーバーの労働者調査論」西川峰高先生
- ⑧ 「経営情報システムにおけるソフトの開発」安田英理佳先生・中村健壽・戸田昭直先生・西川三恵子先生・加藤宏美先生

これら発表内容は、昨年度のブロック研究会の発表テーマと比すると一段とビジネスの諸現象を対象とした研究へ進展しており、今後の方向性を感じる。さらにマルチメディア社会の到来を象徴するが如く、伝統的な資料配付やOHPを使用した発表方法から、パソコンを使用したビジュアルな発表へと技法の変化も顕著であった。

研究会第一日目は、研究会終了後、懇親会がもたれ、相互の旧交を温めたり、研究・教育の情報交換、また研究発表者との質疑応答など和やかな雰囲気なかで有意義な時間を共有することができた。

なお、特筆すべきは今年度も他ブロック研究会より5名の方が、参加されたことである。中には当ブロック研究会会員との共同研究者として研究発表していただいた方もあり、大きな刺激を与えてくださった。(中村健壽記)



近畿ブロック

ブロック運営動向

平成10年度は以下の通り2回の研究会を開催しました。

第26回ブロック研究会

日時：平成10年3月21日(土)午後1時～4時30分
場所：大阪国際交流センター
出席者：42名

小原将温先生(奈良佐保女学院短大)の司会で福永弘之ブロックリーダー(兵庫県立姫路短大)より、「ブロック内の共同研究の推進と助成策」について説明があり、続いて福井有先生(大手前女子短大)より、全国大会の状況報告がありました。その後、個人研究発表、分科会を持ちました。

第27回ブロック研究会

日時：平成10年8月29日(土)午後1時～4時30分
場所：兵庫県立女性センター
出席者：40名

最初に唐崎齊先生(滋賀女子短大)の司会で、総会を開催しました。福永弘之ブロックリーダー(姫路工業大学)の活動報告、1997年度収支決算等の説明・報告を受け、次いで、武田寿子先生(神戸医療福祉専門学校)の監査報告がありました。また、運営委員に林雄太郎先生(大阪キリスト教短大)・仁平征次先生(関西国際大短大)・笠原多恵子先生(京都短大)・有働寿恵先生(梅花女子短大)の4名が新たに選ばれました。大手前女子短大の福井有先生より全国大会の報告と御礼があり、更に兵庫県立女性センターの高坂副所長より「女性センター」の紹介をいただき、続いて緒方真澄先生(平安女学院短大)の司会のもと「『インターンシップ制』について」関西経営者協会の松原武夫事務次長の講演がありました。

ブロックの研究会活動

第26回研究会では森田園子先生(樟蔭女子短大)の司会で、



下記の先生方が個人研究発表をされました。

①「新しいビジネスマナーを考える—電子コミュニケーションを中心として(2)—」

大窪久代先生(近畿大短大)

②「21世紀の企業組織と人間・仕事—エディターシップの必要性—」

河原和英先生(樟蔭女子短大)

③「ビジネス学研究(第3報)—経営現象の因果律の考察—」

林雄太郎先生(大阪キリスト教短大)

大窪先生はサイバースペースでのマナーの重要性を示唆され、河原先生はエディターシップが実務能力養成の要であることを強調されました。林先生はビジネス学が経営学では論じられない分野へのコミットの可能性を指摘されました。

第27回研究会では武田寿子先生(神戸医療技術専門学校)の司会で4名の研究発表がありました。

①「環境と企業倫理」

河原和英先生(樟蔭女子短大)

②「ビジネス実務能力はどのようにして養成されるか—大証2部上場企業の事例—」

雑賀憲彦先生(大谷女子短大)

③「ビジネス学確立理論の研究(第5報)—西田哲学を媒介として—」

林雄太郎先生(大阪キリスト教短大)

④「『表現力』の開発に関して」

前田昌子先生(大阪国際女子短大)

河原先生は環境への企業対応は規則以前の倫理の重要性を、雑賀先生は真に業績に結びつく業務能力の必要性を指摘されました。林先生は西田哲学に場を直視した根源的思想があることを、前川先生は話し言葉の訓練の必要性を示唆されました。(河原和英記)

中国・四国ブロック

1. ブロック運営動向

平成10年度運営委員会は、平成9年8月、10月、平成10年2月の3回開催され、第15回ブロック研究会の開催日程等を決定し、役員を選出方法、ブロックの活性化、会員の拡大等について検討を重ねた。なお、10月4日に開催された第5回総会で、学会役員選考委員として、篠原收先生(広島女学院大学)と渡辺和枝先生(松山東雲短期大学)を当ブロック研究会より選出することが決定した。



2. 研究活動

第15回ブロック研究会は、平成10年10月3日(土)13:00～19:30、10月4日(日)9:30～12:00の両日、徳島市の阿波観光ホテルを会場として、徳島文理大学短期大学の林直樹先生、四国大学短期大学の松永満佐子先生をはじめ関係の先生方のお世話により開催された。参加者は42名、研究発表は1日目に9件、2日目に4件、合計で13件という多数の研究発表がなされた。

今回、研究発表の領域がさらに広まっているとの印象を受けた。ビール業界をケースに企業の財務分析を授業に取り入れている例を紹介し、企業の財務分析を全体的に分析する能力の必要性を述べた「企業集団の財務分析—ケース—ビール業界」、ビジネス実務教育にボランティア教育を導入することの可能性を探った「ボランティア教育の現状と課題」、ビジネス実務教育にもジェンダー・フリーの視点が必要であることを提言した「ジェンダー・フリーなビジネス実務教育をめざして」等、新しい視点からの研究発表も多くみられた。また、グローバル・スタンダードを身につけるための授業の実践例を通して、「ビジネス実務教育」の方向性を探った「国際ビジネス実務士へのアプローチ」やマルチメディアの活用例を紹介した「wwwとマルチメディアを活用した授業への展開」等、国際化・情報化社会への対応を示唆したもの等幅広い領域からの発表が行われた。こうした発表からも、「ビジネス実務」が実に多種多様で、かつそれを取り巻く急激な環

境の変化に対して敏感に反応していかなければならないものであるということを実に現していると言えよう。

第1日目のプログラム終了後開催された懇親会では、研究発表に関する質問、研究・教育に関する意見交換はもとより学生数の減少に関する厳しい話題等も飛び交うなど、有意義な時間を持つことができた。なお、来年度のブロック研究会は、松山市で開催の予定である。(桐木陽子記)



九州・沖縄ブロック

1. ブロックの運営動向

本年度の運営委員会において第25回、第26回ブロック研究会の場所、日時、発表者等を決定し、またブロック会報の編集・発行等を行った。

平成11年度研究会は、例年どおり10月に福岡市以外で、2月に福岡市において開催されることが決定した。

2. 研究会活動

— 第25回研究会 —

期日：平成10年10月17日(土)

場所：セントヒル長崎(長崎市筑後町)

出席者：20名

研究発表・分科会

「ビジネス実務教育の理論と実践 その3」

発表者：北原康司(佐賀女子短期大学)

司会：弓削忠史(九州共立大学)

「ジェンダーのワークショップ」

発表者：里屋康子(大分県立芸術文化短期大学)

司会：花崎正子(東筑紫短期大学)

「ビジネス実務の教育内容について」

発表者：坂本一登(福岡女子短期大学)

司会：則松真由美(香蘭女子短期大学)

「主従の人間関係と組織的意義 — 利休にみる主従関係」

発表者：白川美知子(中九州短期大学)

司会：木原すみ子(九州龍谷短期大学)

「『ビジネス実務』概念の一考察」

発表者：増田卓司(九州共立大学)



司会：浅岡柚美(中村学園大学短期大学部)

「『ビジネス実務の教育方法をめぐって』(第18回全国大会統一テーマについて)」

— 第26回研究会 —

期日：平成11年2月20日(土)

場所：天神幸ビル(福岡市中央区)

出席者：19名

研究会・分科会

「ビジネス実務能力形成に影響を及ぼす企業理念について」

発表者：井上善海(九州情報大学)

司会：白川美知子(中九州短期大学)

「会社犯罪の一考察」

発表者：北原康司(佐賀女子短期大学)

司会：中村美代子(純心女子短期大学)

「目標による管理についての一考察」

発表者：藤屋伸二(福岡女子短期大学)

司会：杉原英夫(九州共立大学)

分科会「『ビジネス実務の教育方法』をめぐって」

司会：室井廣一(東筑紫短期大学)

記録：花崎正子(東筑紫短期大学)

日本秘書学会の頃と比べ研究対象領域が拡充されたことにより、上記研究会記録のとおり研究発表の内容が多様化している。また、継続研究が増えつつあり、ビジネス、ビジネス実務、ビジネス実務能力をめぐると議論が活発化している。

(坂本一登記)

ブロック研究会での研究発表一覧

【北海道】

「学生の送り出しから新人社員教育を見つめて」

芝 亜砂美(日本経営者協会)

「授業・演習の問題点といくつかの試み」

加藤由紀子(北海道文教短期大学)

「社会人に語った経済学、学生に教える経済学…そのはざままで思うこと」

玉山 和夫(札幌国際大学)

「会計実務の学習内容と教授方法について」

白川 智洋(札幌国際大学短期大学部)

【関東・東北】

「群馬県における企業実態調査」 安藤 光俊 (育英短期大学)
「ビジネス実務教育における教授法の研究」
天野 恒男 (東京家政学院短期大学)
「外資系企業の秘書に見る国際秘書業務の変容」
鎌ヶ江弓子 (共栄学園短期大学)
「情報関連科目における教授法」 佐藤東九男 (東京工芸大学女子短期大学部)
「女性社員と経営組織について」 南村 博二 (大和証券人事部)
「米国のコミュニティ・カレッジにおける秘書教育の現状」
藤田 利久 (川口短期大学)
「国語表現法における情報機器活用の一例—事例研究から—」
今井 克佳 (東洋女子短期大学)
「実務の現状と教育の接点をさぐる—群馬県における調査から—」
武田 秀子 (高崎商科短期大学)
大宮 智江 (高崎商科短期大学)
岡田小夜子 (高崎商科短期大学)
「女性の職域の拡大と企業の求める人材—労働基準法・男女雇用機会均等法の改正を迎えて—」 田寺 典江 (田寺社会保険労務士事務所)

【中部 (東海・北陸)】

「職場における異文化コミュニケーション～オフィスワーカーの志向パターンからみた文化の相違～」 荒川恵美子 (國学院大学栃木短期大学)
大津 洋子 (愛知女子短期大学)
河村 真澄 (岡崎女子短期大学)
原川かず江 (富士フェニックス短期大学)
水谷 啓子 (一宮女子短期大学)
「現代ビジネス環境の実態調査～エレクトロニクスコミュニケーションとヒューマンコミュニケーション～」
田口 智子 (東海産業短期大学)
明瀬 純子 (浜松短期大学)
一柳 達幸 (一宮女子短期大学)
大石 繁 (静岡学園短期大学)
寺田利恵子 (星稜女子短期大学)
真弓 徳光 (高田短期大学)
「情報収集学習と他領域への展開 (II)～新聞活用の秘書教育～」
吉田由紀子 (名古屋聖霊短期大学)
「韓国の働く女性たち」
島本みどり (東邦学園短期大学)
水谷 啓子 (一宮女子短期大学)
森田 園子 (樟蔭女子短期大学)
油谷 純子 (大阪国際女子短期大学)
「高等学校における秘書教育の現状について」
鈴木 和也 (山梨県立吉田商業高等学校)
「経営組織における秘書業務の現状と問題点」
福岡 欣治 (静岡県立大学短期大学部)
中村 健壽 (静岡県立大学短期大学部)
内山伊知郎 (同志社大学)
安田英理佳 (静岡県立大学短期大学部)
一柳 達幸 (一宮女子短期大学)
柴山 正 (名古屋女子大学短期大学部)
石川 雅健 (名古屋女子文化短期大学)
園田千恵子 (金沢女子短期大学)
平田 祐子 (大阪明浄女子短期大学)
余語 真夫 (同志社大学)
加藤 宏美 (静岡県立大学短期大学部)
「経理実務担当者アンケートにみるビジネス実務教育の課題」
戸田 昭直 (浜松短期大学)
西川三恵子 (土佐女子短期大学)
桂 信太郎 (土佐女子短期大学)
「ビジネス社会の精神側面における問題点とその対策の研究～ビジネス社会をとりまく環境からのアプローチ～」
菱田 陽子 (北陸学院短期大学)
野口喜美代 (富士コンピュータ専門学校)
「M.ウェバーの労働者調査」 西川 峰高 (金沢学院大学)
「経営情報システムにおけるソフト開発」

安田英理佳 (静岡県立大学短期大学部)
中村 健壽 (静岡県立大学短期大学部)
戸田 昭直 (浜松短期大学)
西川三恵子 (土佐女子短期大学)
加藤 宏美 (静岡県立大学短期大学部)

【近畿】

「新しいビジネスマナーを考える—電子コミュニケーションを中心として(2)—」 大窪 久代 (近畿大学短期大学部)
「21世紀の企業組織と人間・仕事—エディタースhipの必要性—」
河原 和英 (樟蔭女子短期大学)
「ビジネス学研究 (第3報)—経営現象の因果律の考察—」
林 雄太郎 (大阪キリスト教短期大学)
「環境と企業倫理」 河原 和英 (樟蔭女子短期大学)
「ビジネス実務能力はどのようにして養成されるのか—大証2部上場企業の事例—」
雑賀 憲彦 (大谷女子短期大学)
「ビジネス学確立理論の研究 (第5報)—西田哲学を媒介として—」
林 雄太郎 (大阪キリスト教短期大学)
「表現力」の開発に関して」 前川 昌子 (大阪国際女子短期大学)

【中国・四国】

「ジェンダー・フリーなビジネス実務教育をめざして」
石井 三恵 (広島女子商短期大学)
「ビジネス教育としての地域研究、観光」
浦川 幸弘 (岩国短期大学)
中川 伸子 (岩国短期大学)
中原功一郎 (岩国短期大学)
「企業集団の財務分析：ケース ビール業界」
亀岡 篤 (松山東雲短期大学)
水代 仁 (松山東雲短期大学)
「コンピュータの発達と日本ビジネス」
川端 淑子 (山陽学園短期大学)
「ボランティアの教育の現状と課題」
樋口 紀子 (梅光女学院短期大学)
「国際ビジネス実務教育へのアプローチ」
中川 伸子 (神戸女子大学瀬戸短期大学)
「雇用環境変化と女性雇用労働の多様化・戦力化—オフィスからOLはいなくなるか—」
篠原 收 (広島女学院大学)
「秘書教育と文学」 藤田 雅子 (大阪青山短期大学)
「農業経営体育成施設策と農業経営体の実態報告」
須藤 芳正 (聖カタリナ女子大学)
「経営秘書学キーワード(2) From Global Standard to Multimedia」
堀 正久 (四国学院大学短期大学部)
「キャリア教育の可能性 (その2) —「出口から見た授業の展開と試み」—」
磯田 圭子 (安田女子短期大学)
「アントレプレナーの創造と実務教育」
山本 慶子 (香川短期大学)
「wwwとマルチメディアを活用した授業への展開」
佃 昌道 (高松短期大学)

【九州・沖縄】

「ビジネス実務の理論と実践 その3」
北原 康司 (佐賀女子短期大学)
「ジェンダーのワークショップ」 里屋 康子 (大分県立芸術文化短期大学)
「ビジネス実務の教育内容について」
坂本 一登 (福岡女子短期大学)
「主従の人間関係と組織的意義—利休にみる主従関係」
白川美知子 (中九州短期大学)
「『ビジネス実務』概念の一考察」 増田 卓司 (九州共立大学)
「ビジネス実務能力形成に影響を及ぼす企業理念について」
井上 善海 (九州情報大学)
「会社犯罪の一考察」 北原 康司 (佐賀女子短期大学)
「目標による管理についての一考察」
藤谷 伸二 (福岡女子短期大学)

平成 10 年度ブロックリーダー・サブリーダーおよび運営委員

◎ (リーダー) ○ (サブリーダー)

【北海道】

- ◎北崎 寛 (札幌国際大学短期大学部)
- 和田 佳子 (國學院短期大学)
- 松井 弘子 (北海道女子大短期大学部)
- 乳井 克憲 (札幌国際大学短期大学部)
- 中川 昌代 (道都大学短期大学部)
- 丹治 和典 (札幌国際大学短期大学部)

【関東・東北】

- ◎森 脇 道子 (産能短期大学)
- 佐藤 啓子 (常盤大学短期大学部)
- 大宮 登 (高崎経済大学)
- 會澤 まりえ (尚絨女学院短期大学)
- 天野 恒男 (東京家政学院短期大学)
- 池内 健治 (産能短期大学)
- 植竹 由美子 (仙台白百合短期大学)
- 大橋 進一郎 (城西大学女子短期大学部)
- 風戸 修子 (産能短期大学)
- 古閑 博美 (嘉悦女子短期大学)
- 佐藤 東九男 (東京工芸大学女子短期大学部)
- 高井 由喜雄 (財団法人 実務技能検定協会)

- 武田 秀子 (高崎商科短期大学)
- 田辺 稔 (福島女子短期大学)
- 中佐古 勇 (十文字学園女子短期大学)
- 藤田 利久 (川口短期大学)
- 藤本 幹子 (千葉経済大学短期大学部)
- 三村 善美 (東洋女子短期大学)
- 渡辺 鞠子
- 渡辺 裕一 (産能短期大学)

【中部】

- ◎吉田 寛治 (金沢学院大学)
- 島名 正英 (愛知女子短期大学)
- 中村 健壽 (静岡県立大学短期大学部)
- 明瀬 純子 (浜松短期大学)
- 河村 真澄 (岡崎女子短期大学)
- 北 洵 克輔 (金城短期大学)
- 河野 久子 (仁愛女子短期大学)
- 佐々木 怜子 (愛知学泉女子短期大学)
- 島本 みどり (東邦学園短期大学)
- 清水 たま子 (愛知江南短期大学)
- 柴山 正 (名古屋女子大学短期大学部)
- 野口 喜美代 (富山コンピュータ専門学校)

水口 美知子 (市都学園短期大学)

【中国・四国】

- ◎森 貞俊二 (松山東雲短期大学)
- 三宅 耕三 (香川短期大学)
- 川瀬 啓子 (安田女子短期大学)
- 篠原 敏 (広島女学院大学)
- 川村 郁夫 (宇都短期大学)
- 林 直樹 (徳島文理大学短期大学部)
- 渡辺 和枝 (松山東雲短期大学)
- 西川 三恵子 (土佐女子短期大学)

【九州・沖縄】

- (代行)◎光 岡 延幸 (福岡女子短期大学)
- 北原 康司 (佐賀女子短期大学)
- 伊志嶺 博 (沖縄キリスト教短期大学)
- 坂本 一登 (福岡女子短期大学)
- 白川 美知子 (中九州短期大学)
- 杉原 英夫 (九州共立大学)
- 花崎 正子 (東筑紫短期大学)
- 室井 廣一 (東筑紫短期大学)

平成 10 年度入退会会員 (平成 11 年 3 月 15 日現在)

【新入会員 (正会員)】

- 水田 幸世 (土佐女子短期大学)
- 杉山 喜美恵 (東海女子短期大学)
- 熊崎 雅夫 (東海女子短期大学)
- 藤田 宏明 (中国短期大学)
- 小森 敬子 (作陽短期大学)
- 馬場 正治 (社)日本経営協会
- 戸井 佳奈子 (安田女子短期大学)
- 清水 恵子 Stumborg (武蔵野短期大学)
- 大石 友子 (財)婦人少年協会
- 内藤 英俊 (産能短期大学)
- 加藤 由紀子 (北海道文教短期大学)
- 藤田 達雄 (名古屋短期大学)
- 山下 明博 (安田女子短期大学)
- 花田 恵 (コンパース ジャパン コーポレーション)

大月 英明 (名古屋聖霊短期大学)

【再入会 (正会員)】

- 小川 待子 (東京経営短期大学)

【退会会員 (正会員)】

- 石川 智恵子
- 西本 功
- 小梨 浩子
- 國武 英昭
- 横山 信一郎
- 関口 和代
- 藤井 真知子
- 田中 幸子
- 工藤 暁美
- 土井 真理
- 安福 恵美子

江本 新

- 矢田貝 紀雄
- 山田 亨
- 金本 洋子
- 奥 喜久男
- 加藤 恵美子
- 根木 由美子
- 内藤 連二
- 大柳 康治

【退会会員 (賛助会員)】

- 神戸 YMCA 学院専門学校
- 千代田ビジネス専門学校
- 文教大学経営情報専門学校

事務局移転についてのお知らせ

すでにご案内しておりましたように、平成 11 年 4 月に事務局が下記に移転いたします。

〒158-8630
東京都世田谷区等々力 6-39-15
産能短期大学内
(内藤)